

施工業者様用

オーダーメイドパーティション

[オドア] 引違戸 引込戸

共通施工説明書

対象製品

引違戸 2枚(2本レール)/3枚(2本レール)・3枚(3本レール)/4枚(2本レール)

引込戸 2枚(2本レール)/3枚(3本レール) 各3方枠・4方枠 共通



施工前に本書を必ずお読みください

本施工説明書は以下の対象製品をひとつにまとめて説明しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。



■本書は引違戸3枚(3本レール)・右勝手を例に施工手順を説明しています。それぞれの相違点は扉枚数・レール本数・引込部分の有無で、基本的な施工方法は同じです。
 ■2枚(2本レール)の場合は図中の ⊕ マークに該当する部分の手順がなくなります。同じ2本レールの3枚(2本レール)/4枚(2本レール)は、この2枚(2本レール)に準じます。
 ■引込戸は引込部分の上枠・上レール・下レールが延長するだけで基本施工方法・手順は同じです。■左勝手の場合は左右対象の取り付けとなります。
 このルールを基本にして、別添の製品詳細図面を参照しながら施工を進めてください。

注意事項

施工前に製品をよくご確認ください ●品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がありましたら、販売店様または弊社営業までご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので、必ず施工前に充分なご確認をお願いいたします。
 施工説明書をよくご確認ください ●間違った施工を行ないますと品質劣化や損傷につながります。本書以外の施工方法を行なった場合は、弊社での保証がなくなりますのでご注意ください。



安全上のご注意

■製品の上に載ったり、ぶら下がったりしないでください。
 ■製品をシンナーやアルコールなどの溶剤で拭かないでください。色ムラの発生や、劣化を促進する原因になります。

施工上のご注意

製品の施工について

- 現場の建築完了まで、本体および3方枠・4方枠を養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

製品の施工について

- 本製品はクロス貼りに施工してください。■2人以上で施工してください。■下地は木下地を使用してください。
- 付属のビスで施工してください。梱包に使用する箇所を明記しています。
- 部材には取付位置を示すシールを貼っています。■電動工具でビス頭がつぶれないよう、締めすぎにご注意ください。
- 3方枠・4方枠、特に上枠は確実に固定できているか必ず確認してください。固定が不十分な場合、部材の落下原因になり危険です。
- 扉本体が汚れた場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄く溶かした水を含ませて全体を拭き、その後アルミフレームのみ、水分を取り除くために乾拭きしてください。
- 製品の仮置・保管は直射日光の当たる場所や湿気の多い場所を避け、壁に立てかけて保管してください。
- 施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようにご注意ください。特に床は養生を行ない、製品および床面にキズが付かないようご注意ください。

躯体寸法の再確認

- 施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 最低3カ所は採寸してください。(採寸箇所は下図の矢印部分です)

天井や床のふくれ・下がり 壁面の反り・ふくれ 対角のズレ

施工時の製品の取り扱いについて

- 上・下レールや扉本体に、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、吊車やレールの摩耗の原因となり正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。
- 扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢いよく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。

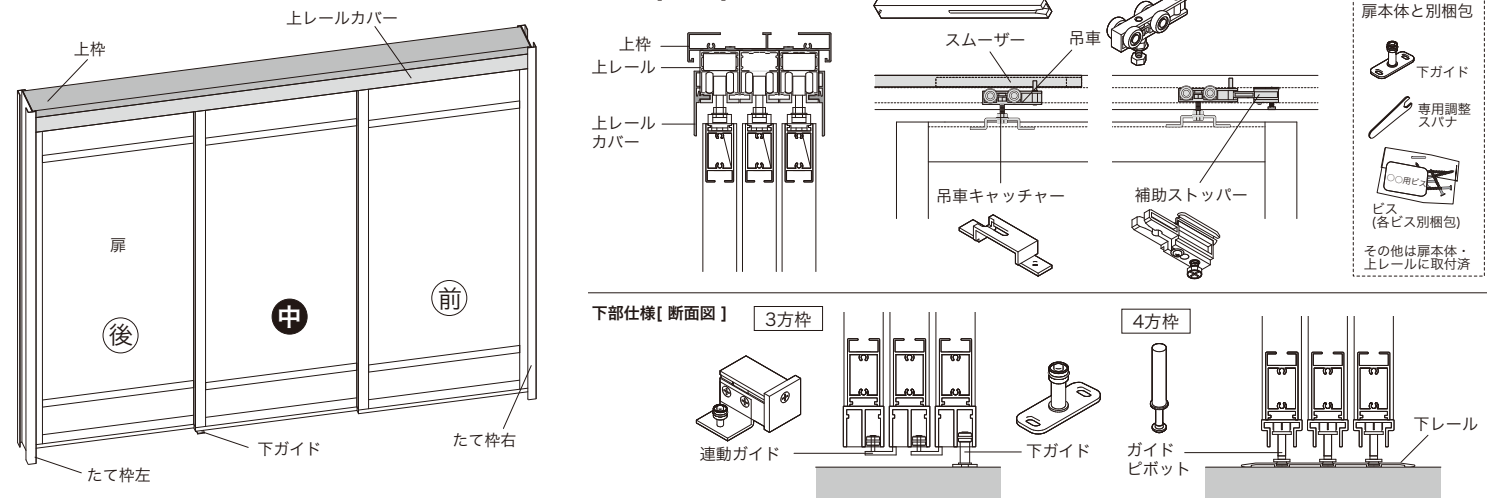
ソフトクローズ機構(スムーザー)について

- ソフトクローズ機構は扉を閉じる際の衝突音を軽減する機能です。指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。
- ソフトクローズ機構が作動する際、カシャという音が発生します。■扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じる場合があります。

⊗ソフトクローズ機構を扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、非常に危険ですので絶対に行なわないでください。

各部説明

■各部名称/納まり図



NANKAN 201010

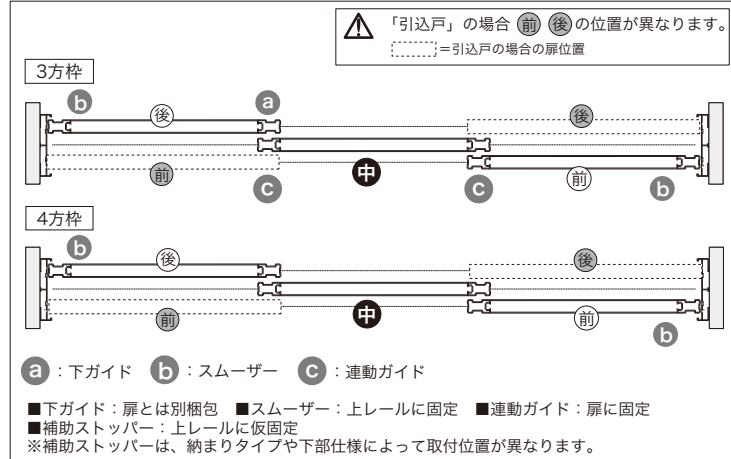
南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町 1-15-10
<http://www.nankaiplywood.co.jp/>

ダイヤルイン 市外局番共通 (087)

北海道・東北営業グループ	TEL825-3632	FAX825-3695
関東営業グループ	TEL825-3621	FAX825-3645
中部営業グループ	TEL825-3622	FAX825-3646
近畿営業グループ	TEL825-3623	FAX825-3647
中四国営業グループ	TEL825-3624	FAX825-3648
九州営業グループ	TEL825-3625	FAX825-3649
特需営業グループ	TEL825-3662	FAX825-3669
テクノ営業グループ	TEL825-3657	FAX825-3659

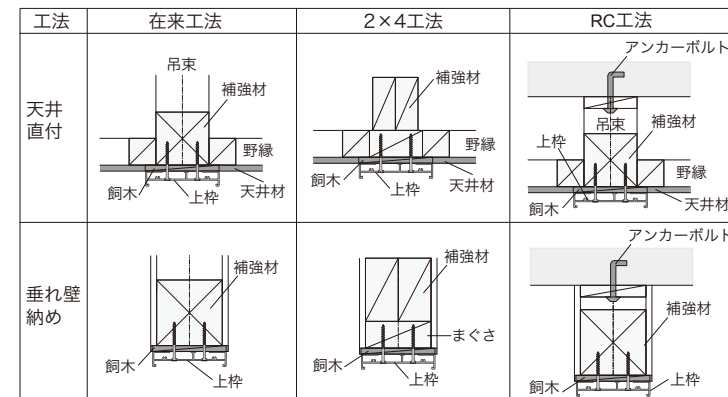
■部品配置図【上面図】



単位: mm

■上枠・天井納まり(参考例)

製品の重量で天井や補強材が垂れ下がらないように確実に補強してください。扉1枚当たり(扉幅900mm×扉高2400mmの場合)、20kg程度の重量があります。躯体には十分な強度を持たせてください。

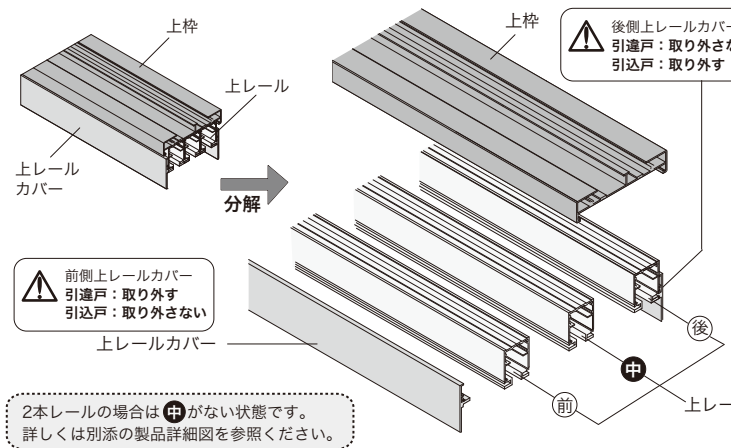


R=レール本数に関係のないレギュラーな共通施工手順 E=レール本数で異なるイレギュラーな施工手順

施工手順

1 事前準備

仮固定された状態で梱包されている、上枠・上レールを分解します。次に固定されている上レールカバーを取り外します。



▲上枠と上レールは出荷時短いネジで仮固定されています。施工時には同梱の正規のビスに取り替えて固定してください。
 ▲片方の上レールカバーは取り付けたま施工します。上図を参照してください。
 ▲取り外した上レールカバーのネジL=8は、最終取り付けの際に使用するので、紛失しないようにご注意ください。

3 枠の取付方法

1 上枠・たて枠の取付方法(3方枠・4方枠)

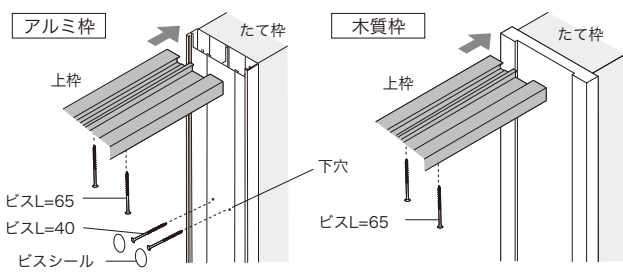
[アルミ枠] たて枠右 → 上枠・たて枠左の順に取り付けます。
 [木質枠] ビス等は現地調達してください。(約600mmピッチで固定)

▲アルミ枠はたて枠左右を最初に取り付けると上枠が取り付けできません。

【アルミ枠の場合の手順】

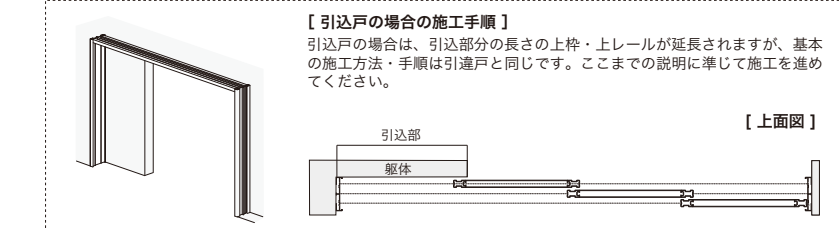
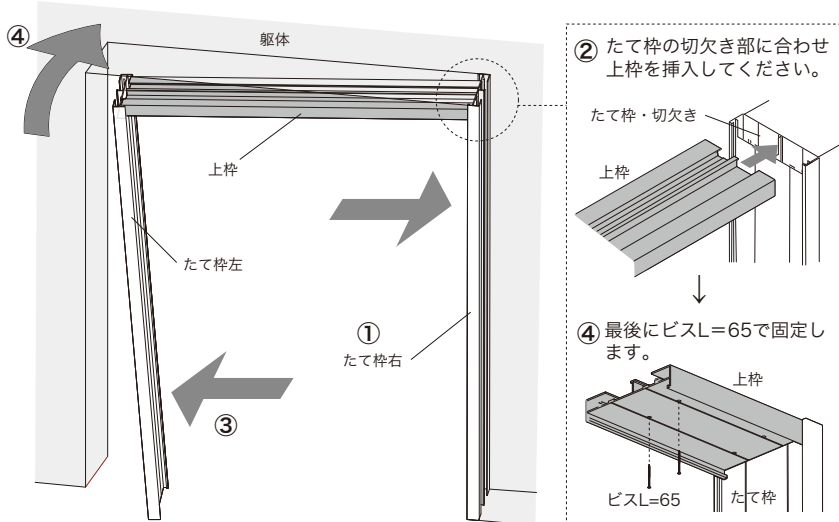
- 1 たて枠右をビスL=40で、約600mmピッチの下穴位置で固定します。
- 2 たて枠右の切欠きを上枠をはめ込みます。(ビス未固定/火も同様)
- 3 たて枠左と上枠の端を突合わせ、合せた部分を持ちあげはめ込みます。
- 4 たて枠・左右をビスL=40で、約600mmピッチの下穴位置で固定。上枠はビスL=65を使用し、約900mmピッチの下穴位置で固定します。

※木質枠の場合は、下図と製品添付の詳細図面を参照し施工を行なってください。



下穴にそってビスを固定。ビス頭にビスシールを貼付します。 ビス現地調達。約600mmピッチを目安に固定してください。

- ▲上レール位置が開閉口に対してずれていると、開閉時動作が悪くなります。上枠は正しく取り付けてください。
- ⊗上枠は現場でカットしないでください。スムーザーが所定位置に取り付けられているため、これらの位置がズレてしまい正しい設置ができません。



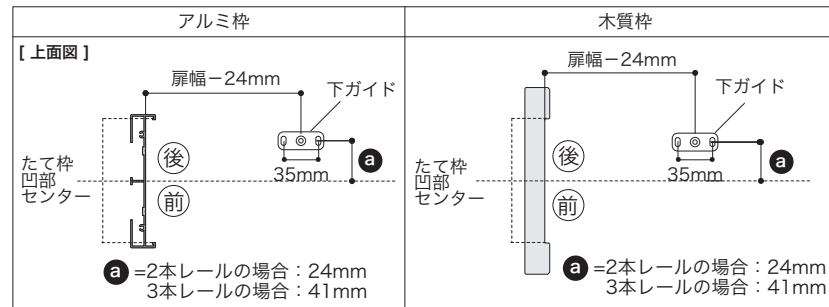
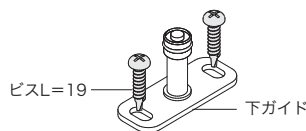
単位: mm

R=レール本数に関係のないレギュラーな共通施工手順 E=レール本数で異なるイレギュラーな施工手順

施工手順

2 下ガイド(3方枠)の取付方法

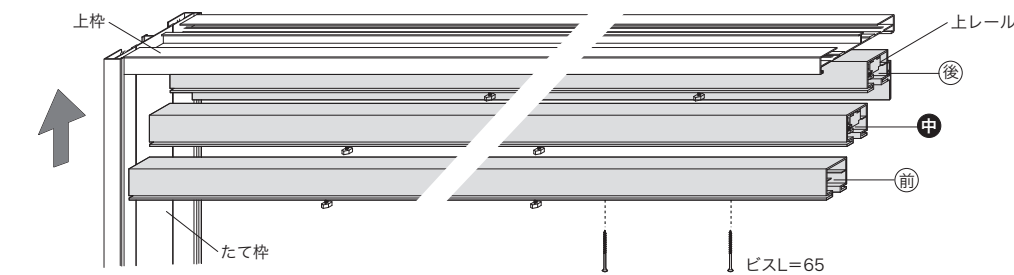
下図を参照し、取付位置を墨出し下ガイドをビスL=19で固定します。位置は同様ですが下ガイドの取付個数は扉の枚数によって異なるため、別添の製品詳細図を参照してください。(引込戸も同様です)



引込戸用枠については別添の製品詳細図を参照してください。

4 上レールの取付方法

1で取り外しておいた上レールを(後)レールから順に、約450mmピッチであいている下穴に、L=65のビスで上枠・天井に固定してください。



▲ 上レールには、補助ストッパー: 仮固定/スルーサー: 固定/吊車を挿入の状態に梱包されています。
▲ 上レール内に、木くずやゴミが入らないようご注意ください。ゴミが入っているとソフトクローズ機構が低下するおそれがあります。

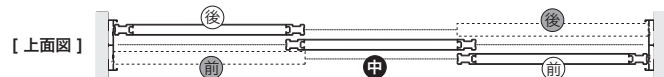
2本レールの場合は(中)がない状態です。詳しくは別添の製品詳細図を参照ください。

5 扉の取付方法

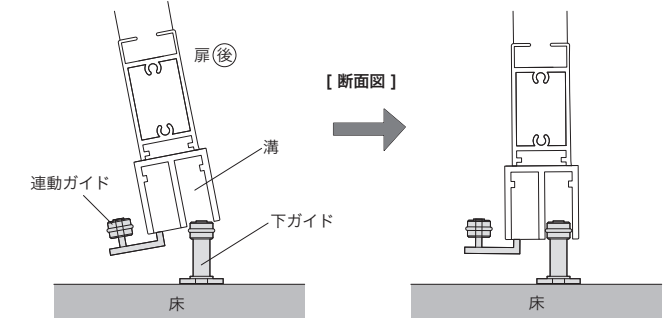
1 下部(扉後)の取付方法

3方枠・4方枠とも扉(後)から取り付けてください。次にそれぞれ2を参照して、上部を取り付け・固定後、次の扉の取付作業を行ってください。作業はこの繰り返しとなります。

▲ 「引違戸」の場合の手順は(前)→(中)→(後)となりますのでご注意ください。
--- = 引込戸の場合の扉位置

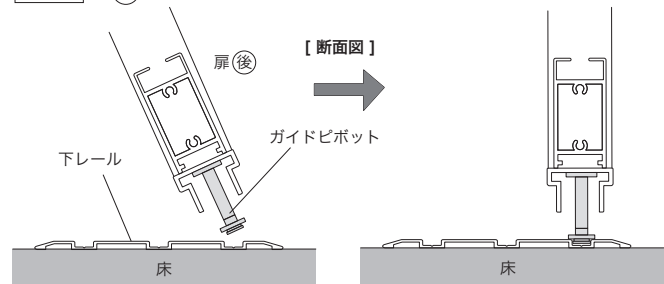


3方枠 下ガイドにゆっくと、扉(後)の溝をはめ込みます。扉は持ち上げながら挿入するとスムーズに取り付けられます。



▲ 扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏が合っているかどうか再度確認してください。3方枠の場合、表裏を逆に取り付けてしまうと運動ガイド位置が逆になり、以後の施工ができなくなります。

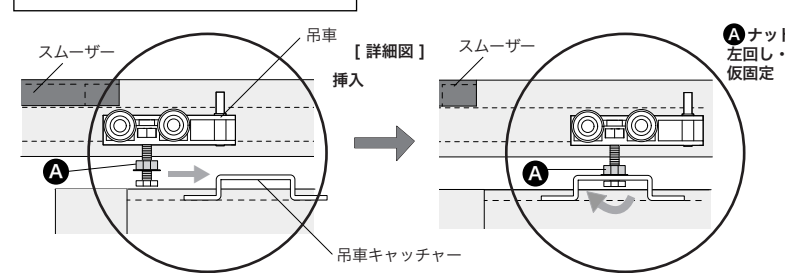
4方枠 扉(後)のガイドピボットを下レールの後側に挿入します。



2 上部の取付方法

扉を垂直にして、上レールの吊車を、扉の吊車キャッチャーに挿入し、奥までしっかり差し込み、専用調整スパナ(同梱品)を使ってAのナットを締め仮固定してください。建てつけ調整は、すべての扉を取り付け後行ないます。(6参照)

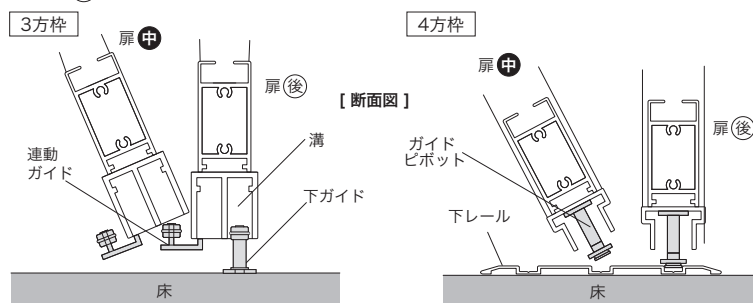
▲ 必ず奥まで差し込んで固定してください。差し込みが甘いと、振動や衝撃で余分な負荷がかかり、扉の故障の原因となります。



3 扉(中)の取付方法

運動ガイドに、扉(中)の後側の溝を挿入します。扉(前)も同じ要領で取り付けます。

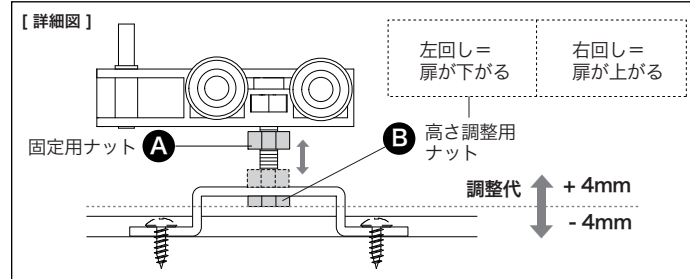
扉(中)も、(後)と同じ要領で下レールにガイドピボットを挿入します。



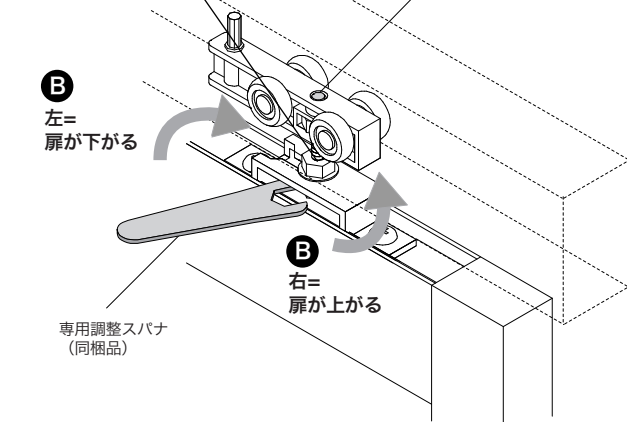
それぞれ2を参照し、上部を取り付け・固定後、次の作業に移行してください。

6 高さの調整方法

- Aのナットを専用調整スパナ(同梱品)で右に回し、ゆるめます。
- Bのナットを回し、扉の高さ調整を行ないます。(調整代±4mm)
- Aのナットを左に回し、ベストな状態で固定します。



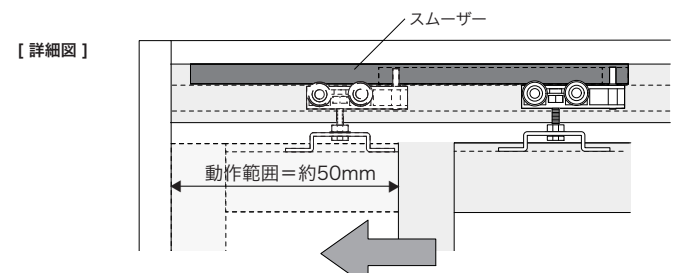
▲ 調整ボルトは凹凸のないフラットな状態が±0のポジションです。出荷時は±0の状態です。



▲ 調整代±4mm以上の調整を行なった場合、引違戸の外れや他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。

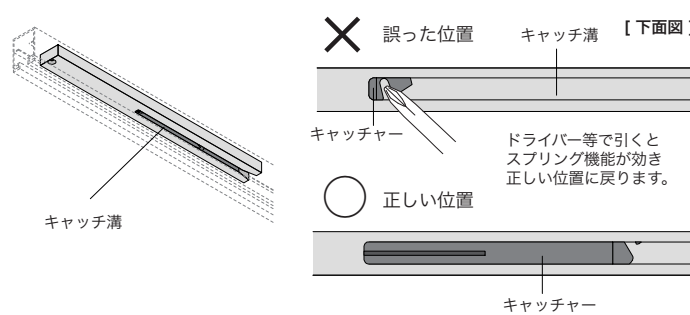
7 スルーサーの動作確認

扉をスライドさせスルーサーが正しく動作しているか確認してください。



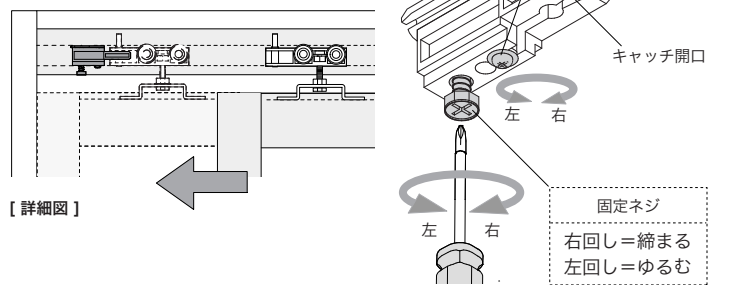
スルーサー内のキャッチャー位置が正しくないと、スルーサー機能が動作せず扉がゆっくり閉まりません。

下図を参照し、キャッチャー位置を確認してください。正しくない場合は、キャッチ溝にドライバー等を挿入し、軽く引いて正しい位置にもどしてください。



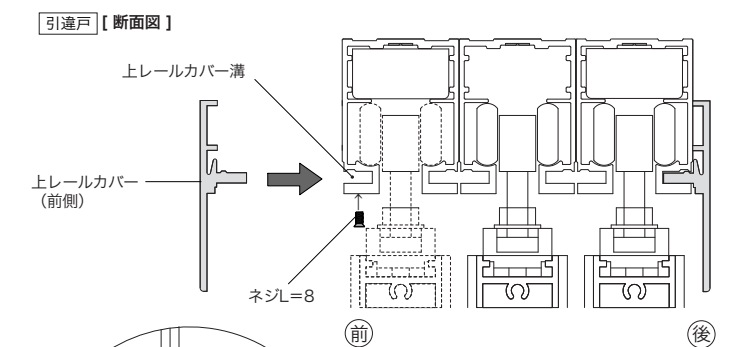
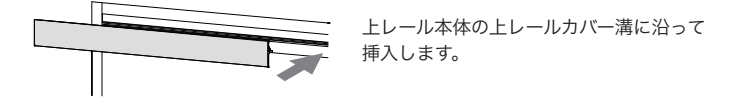
8 補助ストッパーの固定・調整方法

- 出荷状態で仮固定されていた補助ストッパーを、扉を閉めてストッパーが機能する箇所まで移動させてください。
- 機能する箇所、固定ネジを締め本固定してください。
- キャッチ開口の幅が狭く閉まりにくい場合や、広すぎてゆるい場合は、キャッチ調整ネジでキャッチ開口の幅を調整してください。最後に扉の開閉を行ない、適切に機能しているか確認してください。



9 上レールカバーの取付方法

すべての取り付け・調整が終了したら、1で取り外していた前側の上レールカバーを下図の方法で取り付けてください。固定はサイズに関わらず6カ所です。下から1で取り外していたネジL=8で固定してください。



× 電動工具は使用しないでください。トルクが強すぎると、ビス頭がつぶれるおそれがあります。

▲ 「引違戸」の場合は、前側のレールカバーを取り付けます。「引込戸」の場合は、後側のレールカバーを取り付けます。

